

●近隣市とのごみの取り組み比較

※実績値の出典：多摩地域ごみ実態調査 平成24年度統計（平成25年8月発行）

資料1

ごみ量比較(単位:g/人日)

	原単位	可燃	不燃	資源	粗大	有害	持込	可燃	不燃	資源	粗大	有害	総ごみ	可燃	不燃	資源	粗大	有害
武蔵野市	676.7	416.4	24.9	206.8	26.8	1.8	187.7	187.7	0.0	0.0	0.0	0.0	864.4	604.1	24.9	206.8	26.8	1.8
三鷹市	611.6	339.3	31.8	210.8	28.9	0.8	89.1	89.1	0.0	0.0	0.0	0.0	700.7	428.4	31.8	210.8	28.9	0.8
西東京市	567.1	330.7	48.0	185.5	2.1	0.7	93.9	93.4	0.2	0.0	0.2	0.0	661.0	424.2	48.2	185.5	2.4	0.7

集団回収量(単位:g/人日)

(行政収集+集団回収 単位:g/人日)

	合計	紙類	布類	鉄類	アルミ類	ガラス類	ペットボトル	紙パック	発砲トレイ	その他	家庭ごみ総量
武蔵野市	69.4	65.4	2.5	0.3	0.8	0	0	0.4	0	0	746.1
三鷹市	50.4	42.7	1.6	1.7	0.8	3.3	0	0.3	0	0	662.0
西東京市	48.8	44.5	4.3	0	0	0	0	0	0	0	615.9

資源ごみからの資源化量の品目別内訳 *拠点回収による資源化量を含む

	合計	紙類	布類	鉄類	アルミ類	ガラス類	ペットボトル	紙パック	発砲トレイ	その他
武蔵野市	201.0	112.1	5.7	5.4	3.6	27.3	8.7	0.6	0	37.6
三鷹市	210.8	101.6	10.2	3.3	3.5	24.7	9.3	0	0	58.2
西東京市	181.5	86.6	10.1	9.7	4.8	21.6	8.1	0	0	40.6

- ①武蔵野市は他の2市に比較して、可燃ごみが80g/人日前後多い。
三鷹市：非日常的なごみも1回3袋まで。それ以上は「袋ごみ」という粗大ごみ扱い 西東京市：プラスチック製品は不燃ごみとして収集。
- ②西東京市の粗大ごみ量は他の2市に比較して25g/人日程度少ない。
西東京：粗大ごみとして中間処分場に持ち込む前に資源化してしまう。
- ③持込ごみの可燃ごみは武蔵野市が圧倒的に多い(処理手数料改定により25年度28%程度減)
三鷹市：焼却工場では紙ごみの持込みは受け入れていない。
- ④プラスチック製品は武蔵野市は可燃ごみ、三鷹市は資源ごみ、西東京市は不燃ごみとして扱っている。
- ⑤西東京市はプラスチック容器包装の収集は有料(0.5¥/ℓ)
- ⑥西東京市では小規模事業所の排出するごみは行政収集しない。

可燃ごみ・ごみ組成(乾ベース)

可燃ごみ量(t/年)	可燃物(%)						不燃物(%)					
	紙類	厨芥	繊維	木・草	その他可燃物	プラスチック	ゴム・皮革	金属	ガラス	土砂・陶磁器	その他不燃物	
武蔵野市	30,557	31.1	9.9	12.5	10.9	4.4	25.8	1.3	1.3	0.5	2.4	0
三鷹市	28,170	38.9	15.4	4.5	22.6	0	12.2	0.4	0.8	0	1.1	4.1
西東京市	30,666	38.4	11.1	12.2	10.9	2.6	20.3	0.8	2.1	0.9	0.7	0

不燃ごみ・ごみ組成(湿ベース)

不燃ごみ量(t/年)	可燃物(%)						不燃物(%)					
	紙類	厨芥	繊維	木・草	その他可燃物	プラスチック	ゴム・皮革	金属	ガラス	土砂・陶磁器	その他不燃物	
武蔵野市	1,258	1.4	2.4	0.5	1.5	1.1	9.7	2.8	26.5	9.4	11.8	32.9
三鷹市	2,088	2.3	0.5	5.8	2.1	0	40.8	4.7	11.4	3.5	11	17.9
西東京市	3,485	2.6	0	0.9	1.7	2	64.7	0	1.7	8	18.1	0.3